

愛着創造学部 「程よい距離感で「親子で過ごす時間創造プログラム」について

<p>①参加しやすい環境について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・親が参加しやすいと思える魅力的なプログラム ・四季を通じたデイキャンプ（夏：川遊び 秋：紅葉、虫取りなど） ・自然でのキャンプ ・学校行事なども多いため、日程や時間帯の調整が必要
<p>②プログラムの内容について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力 ・対応能力（例：自分たちで食べ物を収穫して火をおこして調理する） ・協調性や主体性を学びたい ・個人ではなく集団でできるゲームを取り入れる ・ゲーム機やスマホを禁止して、相手と向き合う時間を大切にしていける必要があるのでは ・親子のみならず、おじいちゃんおばあちゃんなど地域の人も参加し子どもたちと交流を深めることで、普段の生活においても挨拶などの声掛けにもつながる ・調理や農業体験を一緒に行う ・町内でも行ったり見たりしたことがないところも多いので、町内散策を一緒に行えばいいのでは
<p>③その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・親子のコミュニケーションが取れていないのが前提となっているが、しっかりコミュニケーションが取れている家庭も多いのではないか ・昔より今のほうが子供をよく見ているイメージがある ・ゲームばかりで親子のコミュニケーションが取れていないし、友達同士のコミュニケーションもとれていないと感じる ・昔に比べて地域の役など用事も多く、コミュニケーションの低下に影響しているのでは ・子供の成長という面では子供だけでキャンプに行くなども良いのでは ・子供会の活動が縮小し、子供同士の交流や地域住民との交流の機会が少なくなってきたと感じる